

平成 16 年 12 月 22 日



news release

貸倒関連費用の減少とローコストオペレーションの推進により

経常利益は前年同期比 92.0%の増加

純利益は同 69.4%の増加

ポケットカード株式会社（8519）の平成 17 年 2 月期第 3 四半期の業績は、営業収益が 251 億 34 百万円（前年同期比 1.6%増）、経常利益が 58 億 69 百万円（同 92.0%増）、純利益が 29 億 4 百万円（同 69.4%増）と増収増益となりました。

営業収益は、割賦購入あっせん部門が景気回復に伴う個人消費の改善や利用促進施策の推進により前年同期比 11.2%の増加となり、また融資部門の残高が堅調な伸びをみせたことにより営業収益全体で前年同期比 1.6%の増加となりました。一方費用面では、自己破産の減少に伴う貸倒償却の減少や、ローコストオペレーションの推進による販売管理費の圧縮、また前年同期に実施した貸倒引当金算出方法の変更による引当金の積み増しの影響を今期は受けないため、営業費用全体で前年同期比 11.3%の減少となりました。これにより営業利益で前年同期比 92.2%、経常利益で同 92.0%の増益となりました。純利益については、上期に実施した遊休不動産の売却に伴い 6 億 59 百万円の特別損失を計上したものの、29 億 4 百万円（同 69.4%増）となりました。

（百万円）

	営業収益	経常利益	当期純利益
第 3 四半期	25,134 (+1.6%)	5,869 (+92.0%)	2,904 (+69.4%)
通期業績予想	33,600 (+2.3%)	6,800 (+43.9%)	3,500 (+38.8%)
計画進捗率	74.8%	86.3%	83.0%

（）内は前年同期比

◆ 第 3 四半期のトピックス

新基幹システム「JCIRIUS（ジェイシリウス）」の構築に着手

当社は伊藤忠グループとの共同事業をはじめとする新規事業の拡大と顧客への高度で多彩なサービスを提供するため、10月にクレジット基幹システムの全面刷新に着手しました。今回の刷新では約 40 億円を投じ、システム強化による競争優位の獲得とシステム運用集約による効率性の向上、ローコスト化を目指します。新基幹システムには、日本総合研究所のカード基幹業務統合パッケージ「JCIRIUS」を採用、システム構築及び運用業務も併せて委託いたします。

以上